

教育について語り合いませんか！

学校を **核** とした
県内
1,000か所
三二集会



三二集会って？

保護者や地域住民等と学校職員が、教育について膝を交えて本音で語り合う、千葉県ならではの特色ある取組です。

地域と学校
みんなの集会



何をする？

学校が、保護者や地域住民等と連携しながら、三二集会の企画・運営に取り組み、学校を核とした地域コミュニティの構築を目指します。

地域との共催



三二集会の3つのねらい

- 1 地域住民の声を学校運営に生かす地域とともにある学校づくり
- 2 家庭と地域社会が理解し合い、協力し合う環境づくり
- 3 学校を核とした地域コミュニティの構築

令和元年度の「ミニ集会」の様子

■ ミニ集会の実績（政令市を除く） *災害や感染症予防による中止の学校を除く

	開催校数	参加人数	実施率	地域と連携した開催学校数/割合
小学校	651校	31,014人	100%	453校/69.6%
中学校	307校	21,172人	100%	227校/73.9%
高等学校	124校	5,903人	100%	106校/85.5%
特別支援学校	38校	2,418人	100%	32校/84.2%
義務教育学校	2校	48人	100%	1校/50.0%
合計	1,122校	60,555人	100%	819校/73.0%

こんなテーマでミニ集会が行われています

- 学校と地域の連携
- スマートフォン、SNSの安全な利用
- 地域防災、避難所運営
- 安心安全な学校づくり
- 薬物乱用防止の取組
- オリンピック・パラリンピックに向けて
- 子育て、早寝・早起き・朝ごはん
- 福祉教育、道徳教育
- 読書活動

* 最近では、防災・安全、SNS・スマートフォンに関するテーマを設定する学校が多くなっています。

■ 実践例

防災について考えよう

八千代市立大和田西小学校

5年生の社会科の学習と関連させ、児童、保護者、地域の方々とは防災について意見交換をしました。防災士の講話後、児童と一緒にグループ討議を行い、台風や大雨の際の対応を話し合ったり、通学路の危険箇所について情報交換したりしました。



ここがポイント

子どもたちが参加することで、参加者が学校をより身近に感じ、話し合いを活性化する雰囲気づくりにつながります。

地域とともに歩む学校づくり

～10年後の幕張総合高校を見据えて、総合学科としての今～

千葉県立幕張総合高等学校

学校周辺の開発が進行しているタイミングで、保護者や地域の方々とは意見交換をしました。話し合いを活性化するために、KJ法(*)を活用し、参加者から教育活動や地域連携についてたくさんの意見を聞くことができました。

(*) KJ法：カード化された多くの意見やアイデアをグループ化し、課題解決の筋道を明らかにする手法



ここがポイント

長期的なビジョンを持ってミニ集会を実施することで、話し合う内容を焦点化し、計画的な地域との連携体制の構築につながります。

本校の教育活動と地域防災についてみんなで考えよう！

千葉県立特別支援学校 市川大野高等学園

最初に生徒の案内による学校参観を行い、その後、教育活動や自然災害への対応について意見交換を行いました。参加者からは、それぞれの立場で地域の情報提供や学校への意見があり、貴重な情報共有の機会となりました。



ここがポイント

地域自治会、関係機関、近隣企業等の様々な立場の方が参加することで、話し合いや情報交換の幅が広がり、地域との連携体制の強化につながります。

3つのススメ ～「ミニ集会」で大切なこと～

1 共催のススメ

- 保護者や地域の方々とは協議し、地域や学校のニーズに合わせたテーマでミニ集会を開催しましょう。
- 保護者や地域の方々とは連携し、受付・司会・資料印刷等を役割分担してミニ集会を開催しましょう。

2 意見交換のススメ

- 具体的なテーマを設定するとともに、小グループで意見交換する場を作り、参加者からの声を聞き取りましょう。
- グループ討議とともにアンケートを実施し、学校への意見や地域の状況等を情報収集しましょう。

3 参加のススメ

- ホームページ、地域の回覧等を活用し、積極的にミニ集会への参加を呼びかけましょう。
- 学校行事や授業参観をセットで実施し、多くの方々へミニ集会に参加できるようにしましょう。

ミニ集会の詳細情報は、[県教育委員会ホームページ](#)にあります

千葉県教育庁教育振興部生涯学習課

電話 043-223-4069・4167

学校・家庭・地域連携室 ミニ集会ホームページへはQRコード または、

千葉県 ミニ集会

検索

